

2022年1月21日



# 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

## 2021年12月 マンスリー レポート

集計企業数 50 社

## ①売上高・前年同月比

	全店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	72,368,930 万円	100.0%	99.4% (99.5%)	70,427,497 万円	98.3% (98.4%)
食 料 品	62,103,641 万円	85.8% (85.6%)	99.6% (99.8%)	60,293,794 万円	98.3% (98.5%)
農 産	8,723,278 万円	12.1% (12.2%)	100.3% (98.0%)	8,474,264 万円	99.1% (96.7%)
水 産	6,558,667 万円	9.1% (7.8%)	98.9% (98.8%)	6,365,464 万円	97.5% (97.5%)
畜 産	8,153,859 万円	11.3% (11.5%)	98.3% (98.7%)	7,909,787 万円	96.9% (97.3%)
惣 菜	7,541,458 万円	10.4% (10.4%)	105.1% (104.8%)	7,282,035 万円	103.2% (103.0%)
日配食品	13,479,717 万円	18.6% (19.3%)	99.1% (99.7%)	13,090,907 万円	97.9% (98.4%)
加工食品	17,646,661 万円	24.4% (24.5%)	98.3% (99.5%)	17,171,337 万円	97.4% (98.4%)
生活関連	4,411,765 万円	6.1% (6.1%)	96.4% (96.4%)	4,321,076 万円	95.9% (95.9%)
衣 料 品	1,719,679 万円	2.4% (2.8%)	97.8% (102.7%)	1,703,400 万円	99.3% (103.9%)
そ の 他	4,133,845 万円	5.7% (5.5%)	99.8% (97.2%)	4,109,227 万円	100.6% (97.8%)

## ② 数 値

全店総売上高	72,368,930 万円	店舗数	4,979 店舗
総売場面積	10,016,498.4 m <sup>2</sup>	総従業員数	280,012 人

店舗平均月商	14,534.8 万円	平均客単価 (前年同月比)	2,313.7円 (101.9%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	7.2 万円 (6.2万円)	平均売場面積	2,011.7 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	23.9 万円 (20.3万円)	パート比率(前月)	77.0% (76.6%)

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ◆ 天候について
  - ・ 気温について、上旬から中旬は平年を上回る日が多かったが、下旬は強い寒気の影響で大きく低下した時期があり、全国的に寒暖の変動が大きかった
  - ・ 降水量は、北日本の日本海側、東日本の太平洋側でかなり多かった
  - ・ 日照時間は、西日本の太平洋側、沖縄・奄美地方でかなり多かった
  - ・ 日本海側を中心に大雪となった
- ◆ 土日祝日の日数について
  - ・ 土日祝日の日数は前年と同じであった。
- ◆ 新型コロナウイルス感染状況
  - ・ 全国1日当たりの新規感染者数は月末にかけて少しずつ増加傾向にあり、31日は506人であった。12月下旬には変異株オミクロン株の国内初の市中感染者が確認された
- ◆ 商品動向全体
  - ・ 客単価増、客数減の傾向がみられた
  - ・ クリスマスはケーキの予約商品を中心に好調で、惣菜のオードブルやチキンなども好調であることから、家庭内でのパーティ需要があったとみられる
  - ・ 年末商戦について、昨年と比べて帰省者が増えた影響で、帰省需要のある店舗においては、オードブルや寿司の大容量サイズ、刺身盛り合わせなどが好調であった。おせちは予約商品が好調であった一方、農産や水産などのおせち商材は苦戦した。昨年内食需要で好調であった畜産や加工食品など日用品には反動減がみられた

## 《 商品動向 》

### ○農産

- ◆ 相場状況（卸売価格）
  - ・ 野菜は、全体的に高値で推移し、特にたまねぎ、じゃがいもが高値であった
  - ・ 果物は、国産・輸入ともに高値で推移。国産ではみかん、りんご、いちごが高値であった
- ◆ 商品動向
  - ・ たまねぎやじゃがいもは好調であった
  - ・ きのこと類、だいこん、ねぎなど鍋物商材は低調であった
  - ・ みかん、いちご、りんごは低調であった

### ○水産

- ◆ 相場状況（卸売価格）
  - ・ 前年に比べて高値で推移した。特に、まいわし、するめいかが高値であった
- ◆ 商品動向
  - ・ ブリは好調であったが、まぐろ、えび、いかは低調であった
  - ・ 刺身は好調であったが、丸魚、魚卵は低調であった

## ○畜産

### ◆ 相場状況（卸売価格）

- ・ 和牛や国産豚肉、国産鶏むね肉が高値で推移した

### ◆ 商品動向

- ・ 先月に続き、全体的に低調であった
- ・ 輸入牛、輸入豚、輸入鶏が低調であった一方で、和牛は好調であった

## ○惣菜

- ・ オードブルや寿司が好調であった
- ・ おせちの予約販売が好調であった

## ○日配食品

- ・ 冷凍食品やデザート、鶏卵が好調であった
- ・ パン、牛乳、ヨーグルトは昨年の反動で低調であった
- ・ 漬物、麺類が低調であった

## ○加工食品

- ・ スナック、半生菓子など菓子類が好調であった
- ・ 嗜好品、米は低調であった
- ・ パスタ、調味料は昨年の反動で低調であった

## ○「歳暮ギフト（冬ギフト）」の動向について

- ・ ギフト全体では概ね好調で、手土産ギフト、菓子ギフト、酒ギフトが好調であった

## ○「クリスマス商戦」の動向について

- ・ クリスマスケーキの予約販売が好調であった。
- ・ オードブルやチキン類、寿司などパーティメニューが好調であった
- ・ クリスマス菓子は好調であったものの、キャラクター関連は昨年の反動で低調であった

## ○「歳末商戦」の動向について

- ・ おせちの予約販売が好調であった一方で、店頭販売のおせちや農産、水産部門のおせち商材は低調であった
- ・ 帰省需要がある店舗においては、オードブルや寿司の大容量サイズが好調であったのとコメントがみられた
- ・ 年越しそば、天ぷらはおおむね好調であった
- ・ かまぼこは好調であったが、鏡餅、切餅は低調であった